

27年3月議会

緊急輸送路の安全性について

### 質問

次に、緊急輸送路の安全性についてでございます。

今回は道路陥没という観点から質問いたします。

豊中市では過去に、歩道が突然3m四方にわたって陥没し、その上を歩いていた母子が転落するという事故がありました。幸い軽傷だったとのことですが、穴は深いところでは2.5mにも及んだということです。

道路陥没は、道路の下に埋まっているコンクリート管が経年劣化で破損し、管周辺の土が下水に流れたことで生じた空洞の拡大、いわゆる路面下空洞によるものが原因だったとのこと。

豊中市ではこの件を問題視し、市内全域の緊急点検を実施されているとのこと。吹田市でも道路陥没による事故発生が耳に入っています。

まず、道路公園部に伺います。吹田市での路面下空洞による道路陥没発生の危険性についてのお考えと、現在の対策及び今後なすべきことについてお聞かせください。

### 石橋泰典道路公園部長

道路陥没発生によります危険性は、市民の安全、安心を守る立場からも道路を管理する者として非常に重要な課題と位置づけをしております。

対策といたしましては、今年度、第三者被害の防止を目的とした緊急交通路を含めた重要路線につきまして、道路ストック総点検事業を実施し、その事業の中で路面性状調査を行い、路面の状態を把握することに努め、空洞が発生していることが疑われる箇所につきましては、試掘などにより路面下の状況を確認して、空洞があれば埋め戻しなどの処置を行うことにより、道路陥没を未然に防ぎ、道路を適切に維持管理してまいりたいと考えております。

今後につきましては、路面性状調査の結果をもとに、各埋設事業者とも連携をとりながら、道路の安全性の確保に努めてまいりたいと考えているところでございます。

以上でございます。

### 質問

少し踏み込んで伺いたいんですけども、ストック点検を今していただいているということで、路面性状調査をやっていただいているということなんですけども、その路面下の、今回空洞という形で聞いておるんですけども、その路面性状調査によって路面下空洞についても100%発見できるものなのかどうなのかということだけお聞かせいただけますか。

### 石橋泰典道路公園部長

路面の性状調査によりましてですね、空洞による影響で路面が少し陥没をし出しているとか、そういったことが疑われる結果が出れば、先ほど申し上げたように、試掘とかをしましてですね、確認をしていくということを考えております。

### 質問

表面上に問題が出てこなければ、なかなか気づけないということですよ。

次に、危機管理室に伺います。

災害発生時緊急輸送路が被災者へ支援物資を届けるための動脈となります。災害発生時に路面下空洞により発生した道路陥没で緊急輸送路が使用できないという状況になってはなりません。緊急輸送路の安全性確認はできているのでしょうか、お聞かせください。

### 川上勝己危機管理監

緊急輸送路の安全確認につきましては、道路管理者におきまして、平常時からその管理する道路の安全性を十分に監視、点検するとともに、災害時の通行支障に関する情報の収集体制や応急点検体制を整備する旨、地域防災計画に掲げております。

地域防災計画に即して安全が確保されるよう関係所管課及び関係機関と連携を図って事業を遂行してまいりたいと思います。

以上でございます。

### 質問

緊急輸送路の安全についても道路公園部が責任を持っていただいているということなんですけども、道路担当の山中副市長に伺います。

先ほども申し上げましたとおり、道路陥没については上・下水道の破損も要因となり、道路公園部だけでなく水道部、下水道部、また時には、電気やガスの事業者にもかかわり得る問題です。担当部と話していて感じたのですが、路面下空洞については道路の表面上のことではないだけに、なかなか責任の所在が曖昧になりやすく、こういう事業というのはトップダウンで積極的に進めなければ、なかなか進まないのではないかなというふうに感じました。大きな事故が起こってからでは遅いんです。昨日、他の議員からの指摘もございましたが、この路面下の空洞について市としてどのように対応すべきとお考えか、お聞かせください。

### 山中久徳副市長

今、いろんな道路の路面下空洞の問題が本市でも、昨日の質問にもありましたように、起きている現状がございます。これについては、一つは長年といいますか、例えば、きのうの件でいいますと、昭和50年前後に工事を行ったところの路面下が年を経て水を含んだ

り、あるいは水道の漏水の問題が起こったりして出てるというようないろんな要素でいろんなところに原因があると思います。それにつきましては、道路公園部の所管の道路管理者だけでは対応し切れないという問題もございます。

今、現実に道路ストックの総点検をやっているといっても、これも幹線道路だけみたいな形になっておりまして、細かいところはわかりません。その点につきましては、委員からも今御指摘ありましたように、市が管理をしている市道だけをとってしまってもいろんな部局が絡んでおりますので、その部局と調整をとりながら、事前に発見というのがなかなか難しいところがございますけれども、そうはいても、事故が起こってからでは何もなりませんので、その辺も含めてですね、一つ一つ、それぞれの部局がどっかの部局に一つ情報を集めるような形で、今、一つは市民の皆さん、あるいは郵政のほうの皆さんとかですね、それと前から実施をしてるんですけど、職員のいわゆる通勤時点で、何らかの異変が見つかった場合は言うて下さいというようなことも、実質はやってるんですけど、それでもなかなか、多分表層の変化がないと見つからないということがございますので、今、各市ともいろんな工夫をしてやってるということも聞いてますので、本市としても、その辺の情報を取り入れながら、事前の空洞の察知、あるいは危険度の察知ができるような方法がないかということも検討しながら、一義的にはいろんな方法をとって、いわゆる事故が起こらないような対処方法を各部局一丸となって検討してまいりたいというふうに思います。

以上でございます。

## 意見

技術の革新によって路面下空洞調査も可能になってるということを伺いますので、今回、防災という観点でございますので、緊急輸送路だけでもまずね、早急に検討していただけたらいいのではないかと思いますので、よろしく願いいたします。